

総務省承認 No.23027

平成16年7月31日まで

事業体番号		
経営統計	部門名	
	経営耕地面積	a
生産	調査作目名	
	作付実面積	a
費統計	生産期間	は種 年 月 旬
		田植 年 月 旬
		収穫・調製 年 月 旬
計	調査期間	年 月 ~ 年 月

平成 年 農業組織経営体経営調査

調査簿

住所	〒	都道府県	都市	町大字 村字	丁目	番地
事業体名 (組織名)						

出張所調査担当者氏名		電話	
------------	--	----	--

農 林 水 産 省

記 帳 の し か た

この調査簿は、組織の経営概況や生産費に係わる事項についての調査を正確に行うために、労働状況や使用した資材などを、調査客体の皆さんに記入していただくものです。

調査簿の記入していただいた部分につきましては、調査期間終了後に担当職員が回収・集計するようになっておりますので、わからない点がありましたら、担当職員に遠慮なくご相談ください。

この調査簿は、「経営概況」、「月別労働時間」、「作業別労働時間及び使用資材」、「農業資材の購入及び支払料金」、「実支払労賃・地代」、「生産量及び販売状況」及び「企画管理労働時間」の7つに分かれています。

記入していただく項目と記入の方法は、次のとおりです。なお、記入していただく次の1～7の事項のうち、3以降については生産費の調査をお願いしている組織の方だけ記入してください。

また、この調査簿は、感圧式カーボンによる二枚複写となっておりますので必ず下敷きをご使用ください。

1 経営概況

この経営概況は、(1)構成員、構成員の家族及び雇用、(2)農業従事者数、(3)経営耕地面積からなっています。

(1) 構成員、構成員の家族及び雇用

組織を構成している構成員、組織の事業に従事した構成員の家族及び常時雇用者（年間7か月以上雇っている者）の男女別人数などを記入してください。

(2) 農業従事者数

構成員、構成員の家族、常時雇用者などについて、農業従事者数等の男女別人数を記入してください。

(3) 経営耕地面積

組織の経営耕地を田、普通畑、樹園地及び牧草地の地目別に分け、さらに所有地、構成員からの借り入れ(法人組織の場合)又は構成員が提供している耕地(任意組合の場合)、構成員以外からの借り入れ(経営受託の面積を含む。)に分けて、それぞれの面積を記入してください。

2 月別労働時間

この表には、組織の経営全体の労働状況について、組織で管理している労働日誌、出役簿等の記録を参考に月別に記入してください。

(1) 「月別労働時間」欄は、構成員・雇用者別に月間の労働時間の合計を記入してください。

- (2) 「部門別投下割合」欄は、構成員・雇用者別に生産部門（直接的な現場労働）と管理部門（事務、渉外等）の投下割合を記入するとともに、さらに農業部門、調査部門及び農外部門の各部門別の投下割合を記入してください。

3 作業別労働時間及び使用資材

この表には、生産費調査作物の生産のために行った農作業の種類及び労働時間、動力機械の使用種類及び使用時間並びに肥料、農薬などの農業資材の使用数量を記入してください。作業名はなるべく具体的に記入してください。

- (1) 「労働時間」の「構成員」欄は、農作業に従事した構成員・家族の人の名前と労働時間を記入し、どの作業にだれが何時間働いたかをわかるように記入してください。
- (2) 「労働時間」の「雇用」欄は、臨時雇（日雇、季節雇、手伝等）又は常雇がいる場合は、その労働時間を男女別に延べ時間で記入してください。
- (3) 労働時間は、食事や休憩などの時間を除いた実労働時間を記入してください。なお、ほ場までの往復時間も実労働時間に含めてください。
- (4) 「動力機械の使用時間」欄は、どの作業にどの動力機械を何時間使用したかをわかるように記入してください。
- (5) 「使用した資材」欄は、肥料、農薬、燃料油などの農業資材、集会出席、技術習得のための諸材料をどれだけ使用したかをわかるようにそれぞれの品名及び数量を記入してください。

4 農業資材の購入及び支払料金

この表は、(1)現金支払額、(2)現物による支払いからなっています。

- (1) 現金支払額の表には、生産費調査作物の生産のために購入した農業資材の数量及び価額、雇用労賃、農用電力料金、賃耕料、もみすり賃、カントリーエレベーター・ライスセンターの利用料金、土地改良区費、借入料（現物も含む。）、技術習得等のための交通費・受講料等の支払額を記入してください。その際、消費税込みの支払額を記入してください。

構成員から購入したものがあつた場合は、「購入先・支払先」欄に「構成員」と記入し、数量などを「数量」欄に、現金支払額を「価額」欄に記入してください。臨時雇又は常雇があつた場合は、「品名（種類）」欄に「雇用労働」と記入し、「数量」欄に男女別人数、時間などを記入し、「価額」欄には現金支払額を記入してください。

- (2) 現物による支払いの表には、借入地の支払いが現物の場合、「数量」欄に数量を記入してください。

5 実支払労賃・地代

この表には、生産費調査作物の生産のために構成員の労働に対して組織が支払った賃金（現物も含む。）及び生産費調査作物の生産のために構成員が組織に提供又は貸し付けた土地に対して組織が支払った地代（現物も含む。）を記入してください。

- (1) 労賃の「当初支払」とは、農作業開始前の取り決めにより支払われた賃金をいい、「追加支払」とは、農作業終了後に追加して支払われた賃金をいいます。
- (2) 地代の「当初支払」とは、生産開始前に決められていた地代をいい、「追加支払」とは、生産終了後に追加して支払われた地代をいいます。

6 生産量及び販売状況

この表には、生産費調査作物の主産物、副産物の生産(収穫)量、販売量及び販売価額を記入してください。販売したものについては、次のように記入してください。

- (1) 主産物、副産物別にその販売量及び販売金額を記入してください。特に、主産物として販売したものについては、規格(品種とか等級)別に記入してください。
- (2) 販売価額は、実際の受取価格(価額)を記入してください。
- (3) 「備考」欄には、販売先や販売予定のもの(貯蔵仕向けのものを含む。)及び組織で消費したもの(予定も含む。)の数量等を「備考」欄に記入してください。

7 企画管理労働

この表には、組織の農業生産活動に必要な集会(打ち合わせ等)に出席した時間・内容、技術習得、簿記記帳、営農企画設計及び資金調達に要した時間・内容を記入してください。

- (1) 「打ち合わせ(等)の項目」欄は、集会(打ち合わせ等)であればその名称を、技術習得であれば研修会(講習会)等の名称を記入し、簿記記帳、営農企画設計及び資金調達であれば、それぞれ「簿記記帳」、「営農企画設計」、「資金調達」と記入してください。
- (2) 「打ち合わせ等」欄は、打ち合わせ等が組織内で行われたか、組織外で行われたかによって内部・外部別のどちらか一方に 印を記入してください。
- (3) 「打ち合わせ等の出席者」欄は、該当するところに 印を記入してください。「代表者」とは組織の代表者で、「その他」とは組織の構成員(家族も含む。)で代表者以外をいいます。代表者と代表者以外の構成員が出席した場合は、両方に 印を記入してください。
- (4) 「参加人数」欄は、代表者、代表者以外の構成員(家族も含む。)を問わず参加したすべての人数を男女別に記入してください。
- (5) 「打ち合わせ等の所要時間」欄は、参加した人数を問わず、打ち合わせ等に要した時間を記入してください。

〔 調査簿の記入例 〕

1 経営概況

(1) 構成員、構成員の家族及び雇用

項目	男		女		計	
	人	65歳以上	人	65歳以上	人	65歳以上
構成員	人	人	人	人	人	人
構成員の家族						
雇用						
計						

(記入の仕方)

- 1 構成員、組織の事業に従事した構成員の家族及び常時雇用者（年間7か月以上雇っている者）について記入してください。
- 2 男女別人数を記入し、それぞれの65歳以上の人数も記入してください。
- 3 「計」欄は、職員が記入しますので記入する必要はありません。

(2) 農業従事者数

項目	男		女		計	
	人	管理部門専従	人	管理部門専従	人	管理部門専従
計	人	人	人	人	人	人
構成員 (従事日数別)	小計					
	60日未満					
	60～150					
	150～250					
250日以上						
常時雇用者						
臨時雇用(延日)						

(記入の仕方)

- 1 「構成員(従事日数別)」欄は、調査終了時点で過去1年間に何日程度組織の事業に従事したかを概算し、該当する欄に人数を男女別に記入してください。
- 2 「管理部門専従」欄については、農作業等に従事せず、事務等の管理部門に係わる労働にのみ従事する人数を男女別に記入してください。

(3) 経営耕地面積

地目	計	所有地	構成員からの借り入れ、又は構成員が提供している耕地	構成員以外からの借入地
田	a	a	a	a
普通畑				

(記入の仕方)

- 1 組織が経営している耕地の面積を、組織の所有地、組織が構成員から借り入れているもの(法人の場合で権利設定がされているもの)又は構成員が提供しているもの(任意組合の場合で、権利設定はしておらず所有権は構成員にあるもの)、及び構成員以外からの借入地別に記入してください。
- 2 地目の区分は、現況によります。
- 3 「普通畑」には、焼き畑、切替畑、堤外地の畑及び休閒畑が含まれます。
- 4 「牧草地」とは、輪作をしない牧草専用の畑であって、経過年数(おおむね7年未満)と牧草の生産力から判断して、耕地とみなしうる程度のものをいいます。
- 5 「経営受託」の面積については、借入地に含めて記入してください。

2 月別労働時間(月～月)

職員が記入します。

		月間投下労働時間	+++ =100(%)							
			部門別投下割合(%)				部門別投下労働時間			
			生産部門		管理部門		生産部門		管理部門	
月	計	農業部門	農外部門	農業部門	農外部門	農業部門	農外部門	農業部門	農外部門	
		月	計							
月	構成員	男								
		女								
	常雇	男								
		女								
	臨時雇									
月	計									
	構成員	男								
		女								
	常雇	男								
		女								
臨時雇										

(記入の仕方)

労働状況が日数で整理されている場合、時間に換算して記入してください。

〔 調査簿の記入例 〕

調査作物名	組織名	記入月

3 作業別労働時間及び使用資材
(日 ~ 日)

	性別	作業名	労働時間			動力機械の使用時間			使用した資材		備考
			時	分		農機具名	組織所有	個人所有	品名	数量	
構 成 員	男・女										
	男・女										
	男・女										
雇 用	男										
	女										

(記入の仕方)
 1 「構成員」には、組織の農業に従事した構成員の家族についても記入してください。
 2 「性別」欄は、該当するところをで囲んでください。
 3 「使用した資材」欄には農業資材(集会出席、技術習得等のための諸材料を含む。)の品名と数量を記入してください。

4 農業資材の購入及び支払料金
(1) 現金支払額 (日 ~ 日)

品名(種類)	購入先・支払先	数量	価額	備考
			円	

(2) 現物による支払い (日 ~ 日)

品名(種類)	購入先・支払先	数量	単価	価額
			円	円

(記入の仕方)
 1 この表には、購入資材の数量及び価額、臨時雇及び常雇の労賃、農用電力料金、賃耕料、もみすり賃、カントリーエレベーター・ライスセンターの利用料金、土地改良区費、借入料(現物も含む。)、技術習得等のための交通費・受講料等の現金支払額を記入してください。
 その際、消費税込みの支払額を記入してください。借入地の支払いが現物の場合は、数量欄に数量を記入してください。
 2 臨時雇及び常雇があった場合は、「品名(種類)」欄に「雇用労働」と記入し、「数量」欄に男女別人数、時間、まかない回数などを記入し、「価額」欄には現金支払額を記入してください。
 3 構成員から購入したものがあつた場合は、「購入先・支払先」欄に「構成員」と記入し、数量などを「数量」欄に、現金支払額を「価額」欄に記入してください。
 4 農業資材を購入するためにかかった労働時間及び運賃を「備考」欄に記入してください。

5 実支払労賃・地代
(1) 労賃 (日 ~ 日)

構成員名	作業名	労賃(構成員)	
		当初支払	追加支払
		円	円

(記入の仕方)
 1 この表には、構成員の労働に対して組織が支払った賃金(現物も含む。)を記入してください。
 2 労賃(構成員)欄の当初支払とは、農作業開始前の取り決めにより支払われた賃金、追加支払とは、農作業終了後に追加して支払われた賃金をいいます。

(2) 地代 (日 ~ 日)

地目	ほ場名称・地番	地代(自作地)	
		当初支払	追加支払
		円	円

(記入の仕方)
 1 この表には、構成員の提供した土地に対して支払われた地代(現物も含む。)を記入してください。
 2 地代(自作地)欄の当初支払とは、生産開始前に取り決められていた地代、追加支払とは、生産終了後に追加して支払われた地代をいいます。

6 生産量及び販売状況
(1) 主産物 (日 ~ 日)

品種及び等級・規格	生産量(収穫量)	販売量	販売価額	備考
	kg	kg	円	

(2) 副産物 (日 ~ 日)

品種及び等級・規格	生産量(収穫量)	販売量	販売価額
	kg	kg	円

(記入の仕方)
 1 この表には、調査作物の主産物及び副産物について記入してください。「販売価額」とは、組織の受取価格(価額)をいいます。
 2 販売したもの、販売予定のもの(貯蔵仕向けのものを含む。)及び組織で消費したもの(予定も含む。)の区分が分かるように記入してください。
 3 「備考」欄には、販売先や販売予定のもの及び組織で消費したものの数量等を記入してください。

〔 調査簿の記入例 〕

調査作物名	組 織 名	記入月

7 企画管理労働時間

(日 ~ 日)

打ち合わせ(等)の項目	打ち合わせ等		打ち合わせ等の出席者		参加人数		打ち合わせ等の所要時間	打ち合わせ等の具体的内容
	内 部	外 部	代表者	その他	男	女		

(記入の仕方)

- この表には、組織の農業生産活動に必要な集会(打ち合わせ等)に出席した時間・内容、技術習得、簿記帳、営農企画設計及び資金調達に要した時間・内容を記入してください。
- 「打ち合わせ(等)の項目」欄は、集会(打ち合わせ等)であればその名称を、技術習得であれば研修会(講習会)等の名称を記入し、簿記帳、営農企画設計及び資金調達であれば、それぞれ「簿記帳」、「営農企画設計」、「資金調達」と記入してください。
- 「打ち合わせ等」欄は、打ち合わせ等が組織内で行われたか、組織外で行われたかによって内部・外部別のどちらか一方に「印」を記入してください。
- 「打ち合わせ等の出席者」欄は、該当するところに「印」を記入してください。「代表者」とは組織の代表者で、「その他」とは組織の構成員(家族も含む。)で代表者以外をいいます。代表者と代表者以外の構成員が出席した場合は、両方に「印」を記入してください。
- 「参加人数」欄は、代表者、代表者以外の構成員(家族も含む。)を問わず参加したすべての人数を男女別に記入してください。
- 「打ち合わせ等の所要時間」欄は、参加した人数を問わず、打ち合わせ等に要した時間を記入してください。

(参考1) 生産費の費目の分類方法

皆さんの記帳と聞き取りの内容は、下表の費目に分類して、10a 当たりとか60kg当たりの生産費として算出します。

費目	内 容 例 示	
種 苗 費	種子・苗などの金額	
肥 料 費	次の肥料の金額 化学肥料（硫酸、尿素、過磷酸石灰、化成肥料等） 有機質肥料（たい肥、きゅう肥、緑肥、くん炭等、肥料を主目的とする稲わら等を含む。）	
農 業 薬 剤 費	次の農業薬剤の金額 殺菌剤（プロベナゾール粒剤、ピロキロン粒剤等） 殺虫剤（エチルチオメトン粉剤、ダイアジノン粒剤等） 殺虫殺菌剤（イミダクロプリド・トリシクラゾール粒剤等） 除草剤（トリフルラリン粒剤等） 植物生長調整剤（バクロプロトラゾール粒剤、ウニコナゾールP粒剤等）	
光 熱 動 力 費	次の光熱動力の金額 動力機械用燃料（重油、軽油、灯油、ガソリン、混合油等） 動力機械用消耗材料（モビル油、モーター油、マシン油、グリス等） 加温材料（重油、プロパンガス、石灰等） その他光熱材料（木炭、まき、らん炭等） 電力料金、水道料金	
その他の諸材料費	種苗費、肥料費、農業薬剤費、光熱動力費以外で次の諸材料の金額 選種用材料 苗床材料（稲わら、麦わら、竹くい、落葉、ペーパーポット等） 被覆用材料（ビニール、油紙、寒冷しゃ、むしろ等） 栽培用材料（縄、杭、釘、針金等） その他諸材料（主目的が肥料以外の稲わら、麦わら、青草、干草、落葉等を含む。）	
土地改良及び水利費	土地改良区費（土地造成分を除く。） 水利組合費（井堰割、溜池割、水守料、貯水溜の改修費及び共同負担費、用水路及び排水路等の整備改修割、水害予防対策割費等の負担額等） 揚水ポンプ組合費 その他水利費（現物で徴収されたものの評価額及び賦役の評価額を含む。）	
賃借料及び料金	賃借料（建物、農機具等の賃借料） 共同負担費（薬剤共同散布割金、共同施設の負担金、共同育苗負担金等） 料金（運搬賃、賃耕料、航空防除賃、機械田植賃、コンバイン刈請負わせ賃、脱穀賃、もみすり賃等）	
建 物 費	建 物	住宅、納屋、倉庫、作業場、農機具置場等の償却費及び修繕費 大工賃、左官賃、材料費等の修繕費
	構 築 物	次の構築物の償却費及び修繕費 土地改良設備（用水路、暗きょ排水設備、コンクリート丸畔、床締め、客土等） その他の構築物〔たい肥盤、温床わく（園芸施設以外のもの）、肥料溜、支柱類（償却を必要とする竹支柱、鉄パイプ支柱、鉄線支柱等）、斜降索道、農用井戸（園芸施設以外のもの）、稲架〕

費目	内 容 例 示	
農 機 具 費	大 農 具	次の大農具の償却費及び修繕費 原動機（モーター、ディーゼルエンジン等） 揚水用機具（ポンプ類等） 耕起整地用機具〔乗用トラクター、歩行用トラクター、ハロー類（動力）、ブラウ類（動力）、カルチベータ（動力）等〕 施肥用機具（肥料散布機、肥料粉碎機、肥料配合機等） 防除用機具〔噴霧機類（動力）、散布機類（動力）、ミスト機、スピードスプレーヤー、自動爆音機等〕 収穫調製用機具（刈取機類、コンバイン、脱穀機、もみすり機、乾燥機類、掘取機、くん蒸機等） 運搬用機具〔農用自動車（自動車の車検に係る費用は修繕費）、オート三輪車、農用ジープ、原動機付自転車等〕 その他農具（台秤、伝導装置、大型定規等）
	小 農 具	大農具以外で次の農具類の購入費及び修繕費 耕起整地用機具（すき類、くわ類、スコップ類等） 施肥用機具（肥料桶等） 防除用機具（人力除草機等） 収穫調製用機具（フォーク類等） その他農具（はさみ類、かま類、田植定規、筋切り、種まき機、ざる類、み、背負子、なた、鋸、砥石等）
労 働 費	構 成 員 （ 家 族 ）	毎月勤労統計調査（厚生労働省）により算出した賃金で評価した構成員労働費（ゆい、手間替え受けを含む。）
	雇 用	年雇、日雇、季節雇、手伝受け、共同作業受けの賃金（現物支給を含む。） なお、住み込み雇用、手伝受け、共同作業受け労働は、毎月勤労統計調査により算出した賃金で評価した労働費
	間 接 労 働 費	農業資材の購入又は譲り受けに要した引取労働、建物及び農機具費等の自己作業による修理修繕のための労働費
生 産 管 理 費	集会出席に要する交通費、技術習得に要する受講料及び参加料、事務用机、消耗品、パソコン、複写機、ファックス、電話代などの生産管理労働に伴う諸材料等	
物 件 課 税 諸 費 及 び 負 担	物 件 税	固定資産税（土地を除く。）自動車税、軽自動車税、水利地益税、自動車重量税、自動車取得税等
	公 課 諸 負 担	集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費、農業共済組合賦課金等
資 本 利 子	支 払 利 子	支払利子額
	自 己 資 本 利 子	自己資本額に年利率4%を乗じた計算利子額
地 代	支 払 地 代	実際に支払った調査作物作付地の小作料（物納の場合は時価評価額）、調査作物に使用された作付地以外の土地（建物敷地、作業場、乾燥場、通し苗代等）の賃借料及び小作料
	自 作 地 地 代	自作地見積地代（類地小作料）

(参考2) 調査作物の作業分類一覧表

皆さんの記帳と聞き取りの内容は、下表の費目に分類して、10a 当たりとか60kg当たりの生産費として算出します。

(1) 水 稲

作業分類	作 業 の 内 容
種子予措	種もみの選種、浸種、消毒、催芽
育苗	苗代の耕うん、砕土、かん排水、整地、あぜ塗り、施肥(基肥、追肥)、種まき、被覆、苗代の防除、除草、育苗器による育苗作業、畑苗代や保温折衷苗代などに伴う労働、前年の通し苗代の先入労働と苗代管理一切
耕起整地	荒起し、秋田起こしの労働、本田の砕土、しろかき(荒しろを含む。)より本田かん水、整地までの労働(なお、先にかん水してトラクター等で行う耕うんからしろかきまでの一貫作業を含む。)、あぜ塗り労働
基 肥	肥料の運搬、施肥、秋落ちを防ぐための客土の搬入労働、水田裏作物の畝間に次期の稲作のためのたいきゅう肥の施肥労働
直まき	直まき(乾田直まきと湛水直まきの両方を含む。)のための耕うんからは種までの労働
田 植	苗取り、苗運搬、田植、浮苗なおしの労働、補植
追 肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布労働
除 草	人力又は動力による中耕除草、除草剤の散布、ひえ抜き、ひえ切り労働
管 理	けい畔の草刈り〔棚田の法面(けい畔でない。)の草刈りは含めない。〕、かん水、落水、落水溝掘り、水温上昇剤散布、けい畔の小修繕、災害による小規模の水田の復旧作業、構築物に含まれない農道の改修、作柄見回り(集落共同によるかん水排水作業のような水利費に含まれるものは除く。)
防 除	農薬散布による防除作業(除草剤の散布は含めない。) がかし設置、雀追い、被害茎の抜き取り、塩抜き労働(共同防除のための打ち合わせ会議の時間は含めない。)
刈取脱穀	鎌とぎ労働、稲刈り、コンバイン、脱穀機による稲刈りから脱穀までの一貫作業及び刈り取り後の稲わら処理労働を含む、稲の結束、運搬、地干しする場合の反転作業、稲架の組立、稲掛(はさかけ)、稲架の取り壊し、後片付け、稲の収納、脱穀、もみ運搬、脱穀調製後いったん他の場所に収納する場合の収納労働、稲わらの処理労働
乾 燥	動力、火力、人力による乾燥作業、もみすり、調製と包装荷造りが同時に行われる場合には、選別に要する労働を含め包装荷造り労働は除外する。もみ及び玄米の運搬、もみがらの処理労働
企画管理労働	集会出席(打ち合わせ等)、技術習得、資金調達、簿記記帳

(2) 麦 類

作業分類	作 業 の 内 容
種子予措	選種、浸種、催芽、種子消毒
耕起整地	耕起、整地、畝立て
基 肥	基肥の配合、運搬、施肥
は 種	種まき、覆土
追 肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	土入れ、土寄せ、除草
麦踏み	麦踏み
管 理	かん排水、けい畔草刈り、その他管理作業一切
防 除	農薬散布による防除作業
刈取脱穀	麦刈り(鎌とぎを含む。)、脱穀、運搬、稲架作り(取り壊しを含む。)
乾 燥	乾燥、調製
企画管理労働	集会出席(打ち合わせ等)、技術習得、資金調達、簿記記帳

(参考3) 企画管理労働時間の内容例示

(3) 大豆

作業分類	作業の内容
育苗	種子の選種、消毒、土壌消毒、苗床作り、苗床施肥、苗床種まき、間引き(苗床内)、防除、除草、移植、その他苗床の管理一切
耕起整地	耕起、碎土、整地、畝立て
基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種まき(種子予措, 選種、種子の消毒を含む。)、覆土、肥料と種子を混合するものはここにを入れる
定植	植穴(溝)掘り、苗運搬、定植、補植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	中耕、除草、敷わら(除草を目的とした場合)、除草剤の散布、草刈り、下刈り
管理	培土(土寄せ、元寄せを含む。)、間引き、かん排水、けい畔の草刈り
防除	農業薬剤の散布(除草剤の散布は含めない。)、被害茎の除去及び焼却、土壌消毒
刈取脱穀	刈取り、脱穀、収穫物の収納場所への運搬
乾燥	乾燥
企画管理労働	集会出席(打ち合わせ等)、技術習得、資金調達、簿記記帳

項目	内容例示
集会出席時間	生産調整(転作等)、共同作業(防除など)、農作業受託等、土地基盤整備・ほ場整備事業、各種役職等の打ち合わせ、農業機械の借入、災害予防、用水路の管理、農道等の新設・修理作業の打ち合わせ
技術習得時間	普及員・営農指導員等専門家からの技術指導、農協、農業委員会、経営者協議会等の研究会・講習会、市町村、農業委員会、農協主催の視察、農用トラクター等の運転免許取得のための教習所通い、専門書等の読書時間、簿記等の技術習得のための各種講習会への出席
資金調達時間	農用地、農業機械等の購入資金調達、農業用建物の新築・改築・修理資金の調達、土地改良事業資金の調達
簿記記帳時間	農業経営の改善のための簿記記帳、営農企画設計及び経営分析

1 経営概況

(1) 構成員、構成員の家族及び雇用

項目	男		女		計	
	人	65歳以上	人	65歳以上	人	65歳以上
構成員	人	人	人	人	人	人
構成員の家族						
雇用						
計						

(記入の仕方)

- 1 構成員、組織の事業に従事した構成員の家族及び常時雇用者（年間7か月以上雇っている者）について記入してください。
- 2 男女別人数を記入し、それぞれの65歳以上的人数も記入してください。
- 3 「計」欄は、職員が記入しますので記入する必要はありません。

(2) 農業従事者数

項目	男		女		計	
	人	管理部門専従	人	管理部門専従	人	管理部門専従
計	人	人	人	人	人	人
構成員 (従事日数別)	小計					
	60日未満					
	60～150					
	150～250					
250日以上						
常時雇用者						
臨時雇用(延日)						

(記入の仕方)

- 1 「構成員(従事日数別)」欄は、調査終了時点で過去1年間に何日程度組織の事業に従事したかを概算し、該当する欄に人数を男女別に記入してください。
- 2 「管理部門専従」欄については、農作業等に従事せず、事務等の管理部門に係わる労働にのみ従事する人数を男女別に記入してください。

(3) 経営耕地面積

地目	計	所有地	構成員からの借り入れ、又は構成員が提供している耕地	構成員以外からの借入地
田	a	a	a	a
畑	普通畑			
	樹園地			
計				
牧草地				
計				

(記入の仕方)

- 1 組織が経営している耕地の面積を、組織の所有地、組織が構成員から借り入れているもの(法人の場合で権利設定がされているもの)又は構成員が提供しているもの(任意組合の場合で、権利設定はしておらず所有権は構成員にあるもの)、及び構成員以外からの借入地別に記入してください。
- 2 地目の区分は、現況によります。
- 3 「普通畑」には、焼き畑、切替畑、堤外地の畑及び休閑畑が含まれます。
- 4 「牧草地」とは、輪作をしない牧草専用の畑であって、経過年数(おおむね7年未満)と牧草の生産力から判断して、耕地とみなしうる程度のものをいいます。
- 5 「経営受託」の面積については、借入地に含めて記入してください。

2 月別労働時間(月～ 月)

	月間投下労働時間	部門別投下割合(%)						部門別投下労働時間						
		生産部門			管理部門			生産部門			管理部門			
		農業部門	調査部門	農外部門	農業部門	調査部門	農外部門	農業部門	調査部門	農外部門	農業部門	調査部門	農外部門	
月	計													
	構成員	男												
		女												
	常雇	男												
		女												
臨時雇														
月	計													
	構成員	男												
		女												
	常雇	男												
		女												
臨時雇														
月	計													
	構成員	男												
		女												
	常雇	男												
		女												
臨時雇														

(記入の仕方)

- 1 労働状況が日数で整理されている場合、時間に換算して記入してください。
- 2 部門別投下労働時間欄は、職員が記入しますので記入する必要はありません。

3 作業別労働時間及び使用資材

調査作物名	組織名	記入月

(日 ~ 日)

	性別	作業名	労働時間		動力機械の使用時間			使用した資材		備考	
					農機具名	組織所有	個人所有	品名	数量		
構成員 (家族も含む)	男女		時	分		時	分	時	分		
	男女										
	男女										
	男女										
	男女										
	男女										
	男女										
	男女										
	男女										
雇用	男										
	女										

合計	作業分類	労働時間							動力機械の使用時間			使用した資材	品名	数量	
		構成員		雇用		男	女	計	農機具	組織所有	個人所有				
		男	女	男	女										時
		時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分		
	計														

(記入の仕方)

- 1 構成員」には、組織の農業に従事した構成員の家族についても記入してください。
- 2 「性別」欄は、該当するところを で囲んでください。
- 3 「使用した資材」欄には、農業資材(集会出席、技術取得等のための諸材料を含む。)の品名と数量を記入してください。
- 4 「合計」は、職員が記入しますので記入する必要はありません。

4 農業資材の購入及び支払料金

(1) 現金支払額 (日 ~ 日)

品名(種類)	購入先・支払先	数量	価額	備考
			円	

(記入の仕方)

- この表には、購入資材の数量及び価額、臨時雇及び常雇の労賃、農用電力料金、賃耕料、もみすり賃、カンントリーエレベーター・ライスセンターの利用料金、土地改良区費、借入料(現物も含む。)、技術習得等のための交通費・受講料等の現金支払額を記入してください。
その際、消費税込みの支払額を記入してください。
- 臨時雇及び常雇があった場合は、「品名(種類)」欄に「雇用労働」と記入し、「数量」欄に男女別人数、時間などを記入し、「価額」欄には現金支払額を記入してください。
- 構成員から購入したものがあつた場合は、「購入先・支払先」欄に「構成員」と記入し、数量などを「数量」欄に、現金支払額を「価額」欄に記入してください。
- 農業資材を購入するためにかかった労働時間及び運賃を「備考」欄に記入してください。

(2) 現物による支払い (日 ~ 日)

品名(種類)	購入先・支払先	数量	単価	価額
				円
				円

(記入の仕方)

- 借入料などを現物で支払った場合は、「購入先・支払先」欄に「構成員」と記入し、「数量」欄に数量を記入してください。
- 臨時雇用者にまかないを付けた場合は、「購入先・支払先」欄に「臨時雇用者」と記入し、まかない回数などを「数量」欄に記入してください。
- 「単価」欄及び「価額」欄は、職員が記入しますので、記入する必要はありません。

5 実支払労賃・地代

調査作物名	組織名	記入月

(1) 労賃 (日 ~ 日)

構成員名	作業名	労賃(構成員)	
		当初支払	追加支払
		円	円
合計			

(記入の仕方)

- この表には、構成員の労働に対して組織が支払った賃金(現物も含む。)を記入してください。
- 「労賃(構成員)」欄の当初支払とは、農作業開始前の取り決めにより支払われた賃金、追加支払とは、農作業終了後に追加して支払われた賃金をいいます。

(2) 地代 (日 ~ 日)

地目	ほ場名称・地番	地代(自作地)	
		当初支払	追加支払
		円	円
合計			

(記入の仕方)

- この表には、構成員の提供した土地に対して支払われた地代(現物も含む。)を記入してください。
- 「地代(自作地)」欄の当初支払とは、生産開始前に取り決められていた地代、追加支払とは、生産終了後に追加して支払われた地代をいいます。

総務省承認 No.23028

平成16年7月31日まで

平成 年 農業組織経営体経営調査

調査台帳

事業体番号		
経営統計	部門名	
	経営耕地面積	a
生産	調査作目名	
	作付実面積	a
費統計	生産期間	は種 年 月 旬
		田植 年 月 旬
		収穫・調製 年 月 旬
調査期間		年 月 ~ 年 月

住所	〒	都道府県	郡市	町大字 村字	丁目	番地
事業体名 (組織名)						

出張所調査担当者氏名		電話	
------------	--	----	--

農 林 水 産 省

目 次

	(ページ)
経営統計・生産費統計共通	
〔1〕 組織概況	1
1 分類指標	1
2 経営耕地の分散状況	1
3 組織の世帯構成及び出資状況	1
〔2〕 組織の経営収支等	1
1 経営収支（農家以外の農業事業体、任意経営体）	1
2 経営収支（農家以外の農業事業体、法人経営体）	2
3 経営収支（農家以外の農業事業体、生産費統計）	3
4 経営収支（全作業受託組織）	3
5 投資及び資金の調達等	4
6 借入金及び支払利子額	4
7 売掛未収入金及び買掛未払金	4
8 作業料金（全作業受託組織）	4
9 構成員支払労賃（全作業受託組織）	4
〔3〕 生産概況	5
1 主要作物の生産概況	5
2 調査作物の作付概況	5
3 水田農業経営確立対策等の状況	6
4 農作業受託の概要	6

	(ページ)
生産費統計関連	
〔4〕 土地改良及び水利費	7
〔5〕 物件税及び公課諸負担	7
〔6〕 建物費	8
1 償却費（組織所有）	8
2 建物等の使用状況及び負担割合計算表	10
〔7〕 農機具費	11
1 償却費（組織所有）	11
2 農機具の使用状況及び負担割合計算表	12
〔8〕 生産管理費等	13
1 償却費（組織所有のその他の経営資産）	13
2 生産管理費（購入（支払））	13
〔9〕 生産物	14
1 奨励金	14
2 被害状況	14
3 平年収量	14
〔10〕 作付地	14
1 作付地負担割合の整理表	14
2 自作地の類地小作料及び類地借料	14

經營統計・生産費統計共通

〔 1 〕 組織概況

1 分類指標

設立年次	調査開始年次	認定区分	特定農業法人該当区分	法律形態区分	経営耕地面積規模区分	調査作物作付実積	作付面積規模階層	調査部門区分	調査部門作付面積規模区分	全作業受託面積規模区分
年	年					a				

(記入の仕方)

- 1 調査補助員からの聞き取りにより記入する。
- 2 「認定区分」欄は、農家以外の農業事業者のうち法人経営体のみ、組織が認定農業者であるかの区分を記入する。
- 3 「特定農業法人該当区分」欄は、農業生産法人であるかの区分を記入する。
- 4 「法律形態区分」欄は、農家以外の農業事業者のうち法人経営体のみ、農事組合法人、有限会社、株式会社の区分を記入する。
- 5 「全作業受託面積規模区分」欄は、全作業受託組織のみ記入する。

2 経営耕地の分散状況

団地数	
うち、同一集落内	
うち、同一市町村内	

(記入の仕方)

調査補助員からの聞き取りにより記入する。

〔 2 〕 組織の経営収支等

1 経営収支(農家以外の農業事業者、任意経営体)

(収入)

	金額
稲作	円
調査稲	
麦類作	
調査小麦	
雑穀・いも・豆類作	
調査大豆	
野菜	
その他の部門	
農作業受託収入	
水稲	
農業雑収入	
農外収入	
補助金	
水田農業経営確立助成補助金	

(記入の仕方)

会計資料の利用及び調査補助員からの聞き取りにより記入する。

(費用)

	金額	調査部門負担割合
期中棚卸増減	円	%
種苗費		
肥料費		
農薬費		
諸材料費		
修繕費		
光熱動力費		
賃借料		
土地改良・水利費		
販売経費		
租税公課		
負債利子		
雇用労賃		
支払地代		
その他の費用		
農外費用		

3 組織の世帯構成及び出資状況

(1) 世帯構成

		世帯数
範囲	同一集落内	戸
	同一集落外	
出身世帯区分	農家世帯	人
	主業農家	
	準主業農家	
	副業的農家	
	非農家	

(記入の仕方)

調査補助員からの聞き取りにより記入する。

(2) 出資状況

ア 法人経営体の出資構成

	金額
個人	万円
非従事構成員	
農協・農協連合会	
関連会社	
その他の団体	

(記入の仕方)

調査補助員からの聞き取りにより記入する。

イ 任意経営体の出資金額

出資金額計	万円

(記入の仕方)

調査補助員からの聞き取りにより記入する。

〔2〕 組織の経営収支等（つづき）

2 経営収支（農家以外の農業事業体、法人経営体）

ア 貸借対照表

（資産の部）

（負債及び資本の部）

		金額			金額	
流動資産	現金・預金	円	流動負債	買掛金・未払金	円	
	売掛金・未収金			短期借入金	農協	
	有価証券				市中銀行	
	その他の当座資産				その他	
	棚卸資産	農産物			構成員	
	その他		その他の流動負債			
	その他の流動資産		固定負債	長期借入金	財投・財政資金	
固定資産	動物・植物			農協系統資金		
	車両・運搬具			その他		
	機械・装置			構成員		
	建物・構築物			その他の固定負債		
	土地		資本	資本金・出資金		
その他		法定準備金				
無形固定資産		任意積立金				
投資・外部出資		当未処		前期繰越利益		
繰延資産		利益		当期利益		

（記入の仕方）

会計資料の利用及び調査補助員からの聞き取りにより記入する。

（参考）農産加工及び事業外収入の内訳

農産加工	金額	事業外収入	金額
もち加工	円	補助金	円
漬物加工		共済金	
		配当金及び利息	

（記入の仕方）

会計資料の利用及び調査補助員からの聞き取りにより記入する。

なお、事業外収入における補助金及び共済金は転記項目である。

イ 損益計算書

（費用の部）

（収入の部）

		金額	農業部門負担割合	調査部門負担割合
事業費用	生産費	期中棚卸増減	円	
		種苗費		
		肥料費		
		農薬費		
		諸材料費		
		修繕費		
		光熱動力費		
		賃借料		
		土地改良・水利費		
		租税公課		
	原価	労務費		
		構成員		
		雇用者		
		地代		
		員内借入地		
員外借入地				
減価償却費				
農産加工原料費				
その他				
販売及び一般管理費	販売経費			
	給料及び手当			
	構成員			
	雇用者			
	減価償却費			
租税公課				
負債利子				
構成員支払分				
その他の管理費				
事業外費用				
法人税等引当額				

		金額	
事業収入	農業収入	稲作	円
		調査稲	
		農産加工仕向	
		麦類作	
		調査小麦	
	雑穀・いも・豆類作		
	調査大豆		
	野菜		
	その他の部門		
	農作業受託収入		
	水稲		
	農業雑収入		
	農産加工仕向		
	農業外収入		
	資本補助金		
農用機械導入用			
經常補助金			
水田農業経営 確立助成補助金			

〔 2 〕 組織の経営収支等（つづき）

3 経営収支（農家以外の農業事業体、生産費統計）

（収入） （費用）

		金額			金額
		円	期 中 棚 卸 増 減	円	
稲	作		種 苗 費		
	調 査 稲		肥 料 費		
麦	類 作		農 薬 費		
	調 査 小 麦		諸 材 料 費		
雑 穀 ・ い も ・ 豆 類 作			修 繕 費		
	調 査 大 豆		光 熱 動 力 費		
工 芸 農 作 物			賃 借 料		
野 菜			土 地 改 良 ・ 水 利 費		
そ の 他 の 部 門			販 売 経 費		
農 業 雑 収 入			租 税 公 課		
受 託 収 入			負 債 利 子		
	水 稲		雇 用 労 賃		
			支 払 地 代		
			そ の 他		

（記入の仕方）

- 1 生産費の調査期間1年間についての収支を、会計資料の利用及び調査補助員からの聞き取りにより記入する。
- 2 「受託収入」については、[3]生産概況の4農作業受託の概要から転記する。
- 3 「土地改良・水利費」及び「租税公課」については、[4]土地改良及び水利費及び[5]物件税及び公課諸負担から転記する。

4 経営収支（全作業受託組織）

（収入） （費用）

		金額			金額
		円	期 中 棚 卸 増 減	円	
受 託 作 業 受 託	水 稲 作 業 受 託	全 作 業 受 託	種 苗 費		
		員 内	肥 料 費		
		部 分 作 業 受 託	農 薬 費		
		員 内	諸 材 料 費		
		部 分 作 業 受 託	修 繕 費		
		員 内	光 熱 動 力 費		
		部 分 作 業 受 託	賃 借 料		
		員 内	土 地 改 良 ・ 水 利 費		
		部 分 作 業 受 託	販 売 経 費		
		員 内	租 税 公 課		
受 託 作 業 受 託	麦 類 作 業 受 託	全 作 業 受 託	雇 用 労 賃		
		員 内	支 払 地 代		
		部 分 作 業 受 託	そ の 他		
		員 内	大 豆 作		
		部 分 作 業 受 託	そ の 他		
		員 内	そ の 他 の 収 入		
		部 分 作 業 受 託			
		員 内			
		部 分 作 業 受 託			
		員 内			

（記入の仕方）

会計資料の利用及び調査補助員からの聞き取りにより記入する。

〔 2 〕 組織の経営収支等（つづき）

5 投資及び資金の調達等

		金額			金額	
期中投資額	土地購入	円	借入金	長期借入金	期中借入額	円
	建物・構築物購入				期中返済額	
	機械・装置等購入				期末残高	
	その他の資産購入				制度資金	
資本補助金	国		借入金	短期借入金	期中借入額	
	都府県				期中返済額	
	その他				期末残高	

（記入の仕方）

- 1 会計資料の利用及び調査補助員からの聞き取りにより記入する。
- 2 期中投資額には、資本補助金を含まない。

6 借入金及び支払利息額

資金名及び資金の用途	借入元金	調査開始時 未償還残高	支払利息額	調査作物 負担割合
	円	円	円	%

（記入の仕方）

会計資料の利用及び調査補助員からの聞き取りにより、組織としての借入資金について記入する。

7 売掛未収入金及び買掛未払金

	金額		金額
期末売掛未収入金残高		期末買掛未払金残高	

（記入の仕方）

会計資料の利用及び調査補助員からの聞き取りにより記入する。

8 作業料金（全作業受託組織）

		員内料金	員外料金
全作業受託組織		円	円
部分作業受託	育苗		
	耕起・代かき		
	田植		
	防除		
	稲刈・脱穀		
	乾燥・調製		

（記入の仕方）

会計資料の利用及び調査補助員からの聞き取りにより記入する。

9 構成員支払労賃（全作業受託組織）

		男	女
支払労賃	1時間あたり	円	円
	作業面積10aあたり		
	日額換算		

（記入の仕方）

会計資料の利用及び調査補助員からの聞き取りにより記入する。

〔 3 〕 生産概況

1 主要作物の生産概況

		実 数
水	作 付 面 積	a
	生 産 数 量	kg
陸	販 売 数 量	kg
	自 主 流 通 米	kg
	直 接 販 売	kg
麦	作 付 面 積	a
	小 麦	a
	生 産 数 量	kg
類	販 売 数 量	kg
雑 穀 作 付 面 積		a
い も 類 作 付 面 積		a
豆	作 付 面 積	a
	大 豆	a
	生 産 数 量	kg
類	販 売 数 量	kg
野 菜 作 付 面 積		a

(記入の仕方)
調査補助員からの聞き取りにより記入する。

2 調査作物の作付概況

		作 付 地 の 団 地 数		
作	付	土地改良総合整備事業等実施の有無		
		区	50 % 未 満	
			50 ~ 80 %	
			80 % 以 上	
概	ほ 場 ま での	最 短	最 長	平 均
	通 作 距 離 (k m)			
	通 作 時 間 (時 間)			
		枚 数	面 積	
規	模	計	枚	a
		10 a 未 満 区 画 及 び 未 整 理		
		10 a 区 画 (10 ~ 20a 未 満)		
		20 a 区 画 (20 ~ 30a 未 満)		
		30 a 区 画 (30 ~ 50a 未 満)		
及	び	50 a 以 上 区 画 (50 a 以 上)		
		面 積		

2 調査作物の作付概況(つづき)

品 種 別 作 付 面 積	品 種 名	作 付 面 積
		a

(記入の仕方)
1 調査補助員からの聞き取りにより記入する。
2 ほ場(団地)までの通作距離及び通作時間については、主として中核をなすオペレータの通作状況を記入する。

(参考)主要固定資産の保有状況

		組 織 所 有
施 設	育 苗 施 設	台
	ラ イ ス セ ン タ ー	
	そ の 他 の 施 設	
農 機	ト ラ ク タ ー	
	50ps 以 上	
具	田 植 機	
	コ ン バ イ ン	
	普 通 型	
	農 用 四 輪 自 動 車	
	乾 燥 機	
パ ソ コ ン		

(参考)主要固定資産の減価償却費

		実 数	農 業 部 門 負 担 割 合	調 査 部 門 負 担 割 合
圧 縮	あ り	円	%	%
圧 縮	な し			

(記入の仕方)
1 会計資料の利用及び調査補助員からの聞き取りにより記入する。
2 主要固定資産の組織所有台数及び減価償却費の実数は、組織の所有する施設及び農機具等について記入する。
3 減価償却費の農業部門負担割合及び調査部門負担割合は、調査補助員から使用割合を聞き取り記入する。

〔 3 〕 生産概況（つづき）

3 水田農業経営確立対策等の状況

(1) 水田農業経営確立対策実施面積

	面積
水田農業経営確立対策田面積	a
転作実面積	

(2) 水田農業経営確立助成補助金等整理表

名称	金額
水田農業経営確立対策拠出金	円
水田農業経営確立対策助成補助金	
と も 補 償	
経営確立助成補助金	
そ の 他 拠 出 金	
そ の 他 受 取 金	

(3) 経営安定対策

	稲作経営安定対策	大豆作経営安定対策
契約数量	kg	kg
拠出金	円	円
受取金		

(4) 農業共済金

	拠出金	受取金
農業共済金	円	円
稲作		
麦類作		
大豆作		

4 農作業受託の概要

	水	陸	稲	麦	類	作	大	豆	作
受託実戸数	戸			戸			戸		
全作業受託戸数									
受託範囲	同一集落								
	同一市町村								
	面積	価額	面積	価額	面積	価額	面積	価額	
全作業受託	a	円	a	円	a	円	a	円	
員内受託									
部分作業受託	育苗（苗床）								
	耕起・代かき（整地）								
	は種（定植）								
	田植								
	防除								
	刈取・脱穀								
	乾燥・調製								
	収穫（大豆）								
	脱穀（大豆）								
	実面積								
受託収入（調査作物）	円			円			円		
	雑穀・いも・豆類（大豆除く）			工芸農作物			その他（ ）		
受託実面積	a			a			a		
受託収入	円			円			円		

（記入の仕方）

- 1 調査補助員からの聞き取りにより記入する。
- 2 育苗、調製が数量単位で精算される場合は、その見積もり面積を計上する。
- 3 耕起・代かき（整地）や防除など、同じほ場を数回にわたって受託した場合は、その実面積を計上する。
- 4 小麦の生産費の調査客体については、麦類作の欄に小麦の分を（ ）書きで記入する。

生 産 費 統 計 関 連

〔 4 〕 土地改良及び水利費

項 目		金 額	調 査 作 物 負 担 割 合	
土 地 改 良 区 費	維 持 負 担 金	ほ 場 整 備 事 業	円 %	
		農 地 開 発 事 業		
		か ん が い 排 水 事 業		
		農 道 整 備 事 業		
		そ の 他		
		該 当 面 積		
	償 還 金	ほ 場 整 備 事 業		
		農 地 開 発 事 業		
		か ん が い 排 水 事 業		
		農 道 整 備 事 業		
		そ の 他		
		該 当 面 積		
	水 利 組 合 費			
	揚 水 ポ ン プ 組 合 費			
合 計				

(記入の仕方)

- 1 組織及び関係機関からの聞き取り又は実査によって取りまとめる。
- 2 土地改良及び水利費は、組織が他の団体や組合などに支払う土地改良及び水利に係る費用を計上する。なお、構成員が水利費等を支払っている場合でも、組織に係る部分は計上する。
- 3 土地改良区費の内訳がわからない場合は、土地改良区から聞き取り記入する。

〔 5 〕 物件税及び公課諸負担

		賦 課 額	調 査 作 物 負 担 割 合
物 件 税	固 定 資 産 税 (土 地 を 除 く)	建 物	円 %
		償 却 資 産	
	自 動 車 重 量 税		
	自 動 車 税		
	軽 自 動 車 税		
	自 動 車 取 得 税		
	水 利 地 益 税		
	都 市 計 画 税		
	共 同 施 設 税		
	そ の 他 の 物 件 税		
公 課 諸 負 担	集 落 協 議 会 費		
	農 業 協 同 組 合 費		
	農 事 実 行 組 合 費		
	農 業 共 済 組 合 賦 課 金		
	自 動 車 損 害 賠 償 責 任 保 険		
	そ の 他 の 公 課 諸 負 担		
消 費 税			

(記入の仕方)

- 1 調査補助員からの聞き取りにより記入する。
- 2 調査期間 1 年間に組織が負担した物件税及び公課諸負担の額を項目別に計上する。
- 3 組織に係わる物件税及び公課諸負担のみを計上し、構成農家に係わるものは含まない。
- 4 固定資産税の内訳は、課税標準額によって按分する。

〔 6 〕 建物費

1 償却費（組織所有）

	構造	数量 面積 基	建設 年	耐用年数		負担割合		圧縮記帳をした場合		圧縮記帳をしない場合		備考
				経過	将来	農業 部門	調査 作物	取得価額	廃棄又は売却価額	取得価額	廃棄又は売却価額	
建 物												

(記入の仕方)

- この表は、組織で所有している建物及び土地改良設備について記入する。
- 構成員が所有している建物及び土地改良設備を組織で使用した場合は、構成員に借料として支払がある場合はその金額を、支払がない場合は借料を見積もって「賃借料及び料金」として計上する。
- 本調査においては、全て定額法で算出する。なお、調査組織が定率法で償却費を算出している場合は、備考欄に定率法での償却額を記入する。
- 国及び地方公共団体から補助金を受けて購入した資産については、圧縮記帳をした場合と圧縮記帳をしない場合の2とおりの償却計算を行う。

〔 6 〕 建物費（つづき）

1 償却費（組織所有）（つづき）

	構造	数量 面積 基	建設 年	耐用年数		負担割合		圧縮記帳をした場合		圧縮記帳をしない場合		備考
				経過	将来	農業 部門	調査 作物	取得価額	廃棄又は売却価額	取得価額	廃棄又は売却価額	
構 築 物	土 地											
	改 良											
	設 備											
	そ の 他 の 構 築 物											

（記入の仕方）

- 1 この表は、組織で所有している建物及び土地改良設備について記入する。
- 2 構成員が所有している建物及び土地改良設備を組織で使用した場合は、構成員に借料として支払がある場合はその金額を、支払がない場合は借料を見積もって「賃借料及び料金」として計上する。
- 3 本調査においては、全て定額法で算出する。なお、調査組織が定率法で償却費を算出している場合は、備考欄に定率法での償却額を記入する。
- 4 国及び地方公共団体から補助金を受けて購入した資産については、圧縮記帳をした場合と圧縮記帳をしない場合の2とおりの償却計算を行う。

〔 8 〕 生産管理費等

1 償却費（組織所有のその他の経営資産）

種 類	購 入 年	耐用年数		負担割合		取 得 価 額	廃棄又は売却価額	総使用時間	調 査 作 物 使用時間	備 考
		経 過	将 来	農 業 部 門	調 査 作 物					
						円	円	時間	時間	

（記入の仕方）

- この表は、組織で所有している建物・農機具以外の経営資産（償却資産）について記入する。
- 構成員が所有している経営資産を組織で使用した場合は、構成員に借料として支払がある場合はその金額を、支払がない場合は借料を見積もって「賃借料及び料金」として計上する。
- 本調査においては、全て定額法で算出する。なお、調査組織が定率法で償却費を算出している場合は、備考欄に定率法での償却額を記入する。

2 生産管理費（購入（支払））

		購入（支払）額	調査作物 負担割合
集会出席に要した交通費		円	%
技術習得に要した受講料			
技術習得に要した参加料			
技術習得に要した交通費			
事務用備品・消耗品	事務用機の購入		
	筆記用具、帳簿、電卓等の購入費		
	調査作物専門書の購入費		
	パソコンのリース料、FD等		
	複写機のリース料等		
	ファクシミリのリース料等		
	電話代		

（参考）農業労働評価賃金

	金額
農業労働評価賃金	円

（記入の仕方）

農業労働評価賃金は、厚生労働省が実施している毎勤統計結果の建設業、製造業、運輸・通信業の5～29人規模の事業所における「1人平均月間給与額（現金給与総額）」、「1人平均月間労働時間」及び「推計労働者数」を基に算出した都道府県別男女平均賃金を記入する。

（記入の仕方）

この表は、組織として購入（支払）した場合のみを記入する。

〔 9 〕 生産物

1 奨励金

種 類	銘柄・等級	数 量	単 価	価 額
		kg	円	円

2 被害状況

被害の種類	被害の状況

(記入の仕方)

- 1 調査補助員又は関係機関からの聞き取りにより記入する。
- 2 主要な被害について、その種類、発生時期、程度等を記入する。

3 平年収量

10 a 当たり収量	
調 査 年 産	kg
平 年 作 比 /	%
平 年 収 量	kg
1 年 前 の 収 量	
2 年 前 の 収 量	
3 年 前 の 収 量	
4 年 前 の 収 量	
5 年 前 の 収 量	

(記入の仕方)

- 1 調査補助員からの聞き取りにより記入する。
- 2 調査年産の10 a 当たり収量は、調査簿「6 生産量及び販売状況」を基に計算で求める。
- 3 平年の10 a 当たり収量は、組織の過去5年間の10 a 当たり収量から、最高、最低を除いた3年平均収量を計算記入する。

〔 10 〕 作付地

1 作付地負担割合の整理表

作付地の区分	調査作物収穫前1年間に収穫した作物						調査作物負担割合
	前 作			前 々 作			
	種 類	生 産 量	価 額	種 類	生 産 量	価 額	
自 作 地		kg	円		kg	円	%
借 入 地							

(記入の仕方)

- 1 調査補助員からの聞き取りにより記入する。
- 2 自作地とは、組織の所有する土地及び構成員が組織に提供又は貸付けた土地(所有権は構成員にある。)であり、借入地とは、構成員以外から借入れた土地である。
- 3 「調査作物負担割合」は、当該年の調査作物からの収入、前作からの収入、前々作の収入の計から計算により算出する。

2 自作地の類地小作料及び類地賃借料

区 分	土地台帳面積	類地小作料 又は 類地賃借料	作付面積 又は 使用面積		調査作物負担割合
			調査作物面積		
作 付 地	a、m	円	a、m	a、m	%
作 付 地 以 外					

(記入の仕方)

- 1 調査補助員及び農業委員会等の関係機関より聞き取り記入する。
- 2 作付地とは、組織の所有する土地及び構成員が組織に提供した土地である。
- 3 作付地以外とは、建物敷地等が該当する。
- 4 土地台帳面積とは、土地課税台帳に記載されている面積をいう。
- 5 類地小作料又は類地賃借料とは、近傍類地から求めた小作料及び賃借料をいう。
- 6 作付面積は、調査作物以外の作物を作付けた面積を含む。
- 7 調査作物面積は、調査対象作物の作付面積を記入する。
- 8 作付地以外の調査作物負担率は、建物等の使用割合を聞き取り按分する。